

指摘項目	主な意見	事務局の対応（案）
全体の課題	1) 性的少数者に配慮したトイレの整備や女性トイレの便房の数を男性トイレより多くする等、最新の考え方も考慮されてはどうか。 2) バス停の案内は、統一的なルールに基づいて文字表示や音声案内を行ってほしい。 3) 一定規模以上の施設はバリアフリー法の対象となるが、規模の小さな民間施設は、入口に段差がある等、車いす利用者が利用できないことが多い。 4) 聴覚障害者への理解が不十分で、補聴器をイヤホンと間違えられたことがある。	1) 今後の参考にさせていただきます。 2) 案内表示の統一化に向けて検討します。 3)・4) 「心のバリアフリー」として、バリアフリーに対する理解を深める啓発等を進めていきます。
地区ごとの課題	●JR 茨木駅・阪急茨木市駅周辺地区 1) 立命館大学の茨木キャンパスのコンセプトがアジアのゲートウェイであることを考慮すると、特にJR 茨木駅周辺の案内表示は中国語や韓国語を含め、多言語化する必要があるのではないか。 2) JR 茨木駅の駅前広場は改修してよくなったが、案内表示の文字が少し小さい。 3) 阪急茨木市駅の自転車進入禁止柵がバリアとなっている。 4) JR 茨木駅東口の縁石は良いので、今後も使用してほしい。 5) クリエイトセンターの多目的トイレは鍵が上にあり車いすで利用しにくい。 ●南茨木駅周辺地区 1) 立命館大学の開学に伴い、モノレール駅の下にバス停ができたが、駅からバス停までの経路がわかりにくい。特に西側。 2) 駅舎の改札を出た付近のエレベーターが荷物の搬入用にも利用されており、一般利用者が利用しにくいことがある。 3) 元茨木川緑地付近の道路側のガードレールによって、南から北に向かって幅員が狭くなっている。また、タイルの劣化によるデコボコや、並木道の街路樹の根による盛り上がりがある。	ご意見を参考に検討を進めてまいります。
生活関連施設・経路	1) 生活関連施設に市立斎場を追加していただきたい。 2) 茨木市民総合センターへの経路が、実際の利用する経路と異なる。 3) JR 茨木・阪急茨木市周辺地区に、生活関連施設として公民館を追加していただきたい。総持寺駅周辺地区では、コミュニティセンターが生活関連施設になっている。	1) 市営斎場を生活関連施設として設定させていただきます。（別紙参照） 2) 基本構想では当初通りとさせていただきますが、ご指摘の区間については、安全性の確保について検討します。 3) コミュニティセンターと公民館について追加しました。（別紙参照）
重点整備地区	1) 重点整備地区の範囲については、今回揭示されたもので問題ない。	1) 公民館等施設の追加に伴い、重点整備地区の範囲・経路を変更しています。（別紙参照）
各地区の基本的な考え方	1) 各地区の基本的な考え方について再考してほしい。	1) キャッチコピーをとりやめ、地区の整備のポイントとして整理します。（別紙参照）
特定事業の進め方	1) 進捗管理の方法と、特定事業における予算を揭示していただきたい。	1) 次回協議会で、今後の進捗管理についてご提案させていただきます。また、事業予算については、公表可能なタイミングで情報提供させていただきます。